イルミネーション事例(2)

Examples of Illumination (2)

1966年生。1983年墨田工業高校機械科卒。現在、トキ・コーポレーション(株)市場開発担当。

山口 勝
Masaru Yamaguchi

◀キーワード：商業施設、建築化照明、テープライト、低電圧電源器具、樹脂製グローブ球

1. はじめに

建築物、特に商業施設を対象としたイルミネーションは、アイキャッチとしての集客効果だけでなく、施設のイメージを形成する一要素としての機能を求められることが多くなっている。

大規模テーマパークなどで演出材料として積極的に利用されることの影響によって、年々その傾向は強くなり、商業施設以外でも、間接照明などの建築化照明との複合的な演出により、近年その重要度が高くなっている。

2. 球面建造物への装飾施工例

ドーム状の建築物の球面部分に、テープライトを装飾した施工事例。器具特有のフレキシブルさを活かして湾曲した面に沿わせるように取り付けられている。またサッシ枠部分に施工することで、ドーム内面から照明器具が見えない造りとして意匠性を向上させている。

このような装飾は、遠方からの視認性向上に大きな効果があるとともに、地域における建物の存在をより明確にする効果がある(図1)。

図1 東京・日本閣

3. 架橋への装飾施工例

橋の構造部材やワイヤーへ、イルミネーションを施した施工事例。容易に人が触れることができる場所であるため、使用する照明すべてに、低電圧電源器具を使用するとともに、ランプ破損の心配がない樹脂製グローブ球を採用し、十分な安全を確保している(図2)。

4. 既設モニュメントへの装飾施工例

高さ15mにも及ぶ巨大な金属製モニュメントへの施工事例。輪郭部にテープライトを装飾することで、夜間は海面に浮遊するような印象をもたらす。モニュメントに対して、器具は工業用両面テープのみで取り付けられている。この方法は施工のみならず撤去にかかる作業工数も大幅に低減されるため、本例のような冬季限定での仮設装飾にも適している(図3口絵参照)。

5. 公共施設への装飾施工例 1

公共宿泊施設のアプローチ部分の建築造作に、アイキャッチ効果を狙い装飾を行った施工事例。本例も装飾部位の直下に人や車両の往来があるため、安全性の確保を目的として、ランプ破損の心配がない樹脂製グローブ球が利用されている(図4)。

6. 公共施設への装飾施工例 2

公共施設での休憩スペースにおける、日よけ屋根へのイルミネーション施工事例。空間の明るさを増すことに

図2 愛媛・からり橋

図3 東京湾横断道路・海ほたる PA

図5 東京湾横断道路・海ほたる PA

図4 カナダ・Casino de Montreal

より、夜間の安全性を向上させるとともに、暗くて寂しいイメージを改善する目的で装飾されている。日よけ屋

根がパンチングメタル材で作られており、上部からも光がもれる構造となっているため、夜間の意匠イメージ向上にも貢献している（図5）。

7. おわりに

昨今、照明器具のみならずイルミネーション器具においても、LEDを始め様々な光源を利用した器具が開発されている。しかし現状では、白熱電球が持つ特有な色合いがもたらす「暖かさ」「やすらぎ」というイメージを訴求する効果に勝るものはなく、コストパフォーマンスの点においても、当面のあいだは白熱電球を使用したイルミネーションが主流となることが予測される。

もちろん時代の要求である、省エネルギーや環境保護といったものへの取り組みは命題であり、そういった意味では器具メーカーの製品開発においても、新光源を使用した器具に注力されるのも仕方ない側面がある。

しかし、前述のように現時点では白熱電球のみが可能とする特有の演出性を持っており、この点においても白熱電球自体の効率改善、および白熱電球をさらに効率良く点灯させる方法を含めた器具開発へ力を注ぐことも不可欠と考える。